

ケアマネの部屋

発行日：平成 24 年 9 月 30 日 (No.11)
発行元：浜松市介護支援専門員連絡協議会
ブログ：はままつケアマネの部屋
<http://keamanenoheya.hamazo.tv/>

ケアマネジャーと多職種連携について（浜松市介護サービス事業者連絡協議会編）

和合せいれいの里 総園長 副島 克行氏

残暑の候、ケアマネ連絡協の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は浜松市介護サービス事業者連絡協議会の活動にご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今回は本会〔事業者数 732 事業所・平成 24 年 7 月 19 日現在〕の活動内容等について、紹介させていただきます。最初に本会の目的です。

「本会は、介護サービス事業者がお互いの連携及び情報の共有を行うことにより均衡の取れた良質かつ安定した介護サービスの供給体制を確保するとともに、介護サービスの質の向上を図り、もって、サービス利用者等の保健・医療・福祉の向上に寄与することを目的とする。」

この目的を達成するために、下記の事業を行っています。

- (1) 介護サービス事業者相互の連携
- (2) 行政情報等の提供及び介護サービス事業者の情報提供
- (3) 介護サービスの質の向上のための研修及び調査・研究
- (4) 介護サービス事業者間の親睦



本会の事業を推進するために下表の通りサービス種別ごとに専門部会を設置して活動〔2011 年度研修実績〕しています。

これからも、浜松市民の皆様が安心安全に暮らすことのできるよう、ケアマネ連絡協と介護サービス事業者連絡協がより連携を深めていきますよう、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

専門部会	サービス種別	事業者数	研修内容	参加者数
施設系	短期入所生活介護 短期入所療養介護 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護療養型医療施設	125	平成 23 年 9 月 8 日 東日本大震災による被害状況と復興支援について	59 名 22 事業
入居系	認知症対応型共同生活介護 特定施設入居者生活介護 小規模多機能型居宅介護	64	平成 23 年 9 月 8 日 東日本大震災による被害状況と復興支援について 平成 23 年 10 月 18 日 自己覚知の体験学習	46 名 26 事業
福祉用具系	福祉用具貸与 福祉用具販売	36	平成 23 年 11 月 19 日 福祉用具の緊急時の対応について	52 名 40 事業
通所系	通所介護 通所リハビリテーション	201	平成 23 年 11 月 18 日 こんな時、どうしてますか？	91 名 44 事業
訪問系	訪問介護 訪問看護 訪問入浴介護	139	平成 23 年 11 月 12 日 包括の役割とサービス事業者との連携	52 名 36 事業
居宅支援系	居宅介護支援 〔介護予防支援〕	166	平成 23 年 10 月 29 日 ここが知りたい！ケアマネのお仕事 PART II	184 名 101 事業

地域包括支援センターの活動報告（浜北区）

浜北区は東に天竜川が流れ、西に三方原台地を望み、北に赤石連邦とみどり豊かな自然に囲まれて、浜松市のほぼ中央に位置しています。区域の多くを平野部が占め、田園も広がり、昔ながらの近所付き合いが盛んでコミュニティがしっかりしている地域もある一方で、市の中心部と区を結ぶ遠州鉄道に沿って都市化も進み、近年では、近郊において浜松テクノポリスの中核としての「浜北新都市開発」や「平口地区におけるスポーツ施設の整備」、「第二東名高速道路の開通」などにより、新たに移って来られた住民等若い世代が多い地域、隣近所の付き合いの薄い地域もあるのが特徴です。

1. 地域包括支援センターの紹介

このような浜北区の地域性がある中で、地域包括支援センター浜北北部（写真左）と地域包括支援センター浜北南部（写真右）の2ヶ所が現在活動しています。



2. 浜北区地域包括支援センターの担当圏域の状況（平成24年4月1日現在）

項目 \ 包括名	浜北北部 (中瀬・赤佐・麓玉)	浜北南部 (北浜・浜名)
人口	34,105人	58,487人
高齢者人口	8,207人	12,542人
高齢化率	24.1%	21.2%
H23年度分総合相談	1,404件	1,688件

3. 活動内容（浜北区の特徴的な内容を紹介させていただきます）

①総合相談・・・毎週火曜日、老人福祉センターにおいて出張相談を実施。

「包括便り」の発行や老人会やサロンに出向いての包括の周知。

②権利擁護事業・・・隔月で区役所（長寿保険課）と虐待進捗会議を開催し、虐待事例や困難事例についての報告や検討を実施。

区内介護事業所連絡会等で、虐待や成年後見制度の勉強会開催。

③包括的・継続的ケアマネジメント事業

地域の主任ケアマネの方に協力頂き、ケアプラン作成演習や講師を招いての勉強会の開催や事業所連絡会を通して、医療機関等との連携支援。各地区で民生委員とケアマネの交流会の開催。

平成25年4月より、さらにもう1ヶ所地域包括支援センター（受託者は未定）が立ち上がります。地区も浜北北部が麓玉・浜名地区、浜北南部が北浜地区、新包括が中瀬・赤佐地区と担当圏域も分けられ、よりきめ細やかな活動が行えるのではないかと思います。今後も、居宅介護支援事業所の皆様との連携はもちろん、様々な機関と協力しながら、地域に暮らされる高齢者の皆様が安心して暮らしていただけるよう活動して参りますので、宜しくお願い致します。

研修報告（平成 24 年度浜松市介護支援専門員連絡協議会通常総会）

広報委員 関口 進

「平成 24 年度浜松市介護支援専門員連絡協議会通常総会」が 6 月 23 日に可美公園総合センターにて開催されました。現時点の会員数は 1098 名、出席者 260 名、委任出席 444 名で規程の過半数を超え総会が成立しました。

第 1 部は栗倉会長の冒頭のあいさつより始まり、当連絡協議会より事務連絡、行政からは 4 月の報酬改定について皆様からの質問について回答等の報告がありました。

議事では平成 23 年度の事業報告と平成 24 年度事業計画について担当役員から報告および説明がありご承認いただきました。



第 2 部の全体研修会では「ICF を活用したケアプラン作成のコツ」をテーマに、浜松大学保健医療学部理学療法士科准教授の青田安史先生による講義がありました。ICF の考え方をどうやってケアプラン作成に活かすかについての具体的な作成の視点、方向性をわかりやすく説明していただきました。みなさん熱心に聴き入っていました。これからのケアプラン作成の参考にしていただければ幸いです。

—編集後記—

秋風がたなびく今日この頃、皆様はいかがお過ごしでしょうか?? 夜風は身体を冷やしますので、仕事で帰宅が遅くならないようにしたいものですね。仕事のスケジュール管理をしっかりとすることも、身体を壊さぬよう自己メンテナンスをしっかりとすることも相談援助者として大切なことですね。

さて、協議会主体で進めさせてもらっていますケアマネブログですが、内容も徐々に充実してきております。皆さんの情報活用のお場になればとスタッフが試行錯誤しながら編集しておりますので、是非この機会に閲覧していただけたら幸いです。

『はままつケアマネの部屋』アドレス <http://keamanenoheya.hamazo.tv/>
読者登録をしていただくと、ブログの更新時にメールが自動配信されお知らせしてくれます。
登録は上記アドレスまたは、はままつケアマネの部屋を検索しアクセス願います。

ご意見やご感想がございましたら事務局までお寄せ下さい。（介護保険課 FAX 053-450-0084）
今後、ますます充実したものになりますよう、関係皆様のご理解とご協力をお願いします。

広報委員会

村松佐知子（副会長）	関口 進（中区）	飛田ひさ子（東区）
佐口 明（西区）	鈴木澄男（南区）	袴田佳代子（北区）
榊原和美（浜北区）	平出和代（天竜区）	

